

待機児童解消へ対策を 都議会委 曾根都議が求める

日本共産党の曾根は
じめ東京都議は22日の
都議会予算特別委員会
のしめくり質疑で、



保育園の待機児童解消策を
求める曾根はしめ都議
(左) 22日、東京都議会

緊急課題となっている
保育所の待機児童解消
に特別な対策を講じる
よう、舛添要一知事に
求めました。

曾根氏は、都内の認
可保育園などにおける
今年4月時点の入園状
況について共産党の調
査結果を紹介。都内15
区31町村だけで2万2
580人と、入園を申
し込んだ人の37%が入
れなかったことを示
し、「昨年を上回る待
機児が残される可能性
がある」と指摘しまし
た。現状のままでは、

知事が2017年度ま
でに待機児童ゼロをめ
ざすとした公約は実現
困難だと指摘し、「保
育園の増設目標と整備

のテンポを引き上げる
必要がある」と迫りま
した。舛添知事は答弁
で「この4月の待機児
童の状況を踏まえ、検
討したい」と述べまし
た。

曾根氏は、待機児解
消の緊急対策として、
保育士の確保が最優先
課題だと述べた上で、
知事に保育士の重要性
への認識を問いまし
た。

た。

梶原洋福祉保健局長
は、保育士について
「児童福祉における重
要な専門職の一つ」と
答弁しました。

曾根氏は、保育士の
待遇改善のため、月額
3万円程度の賃上げが
できる財政支援を提案
するとともに、せめて
待機児童問題の解決ま
で一定期間、区市町村
が公立保育園を整備す
る場合に思い切った財
政支援を行い、認可保
育園の受け皿を増やす
よう求めました。